

平成 27 年 5 月 30 日

平成 26 年度 学校関係者評価報告書

学校法人愛甲学院
愛甲学院専門学校
自己点検・評価委員会
「学校関係者評価」委員会

学校法人愛甲学院 愛甲学院専門学校自己点検・評価委員会、「学校関係者評価」委員会は平成 26 年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施し、以下のとおり報告いたします。

1. 学校関係者評価委員

- ・関連団体役員
 - 中村 光信 氏 株式会社ホテル・マーケティング研究所 代表取締役
 - 藤井 雅裕 氏 株式会社ホテル・マーケティング研究所 主任研究員
- ・本校卒業生
 - 上西園英司 氏 学校法人愛甲学院専門学校 甲友会会長
 - 澤村美由貴 氏 学校法人愛甲学院専門学校 卒業生
- ・学識経験者
 - 竿田 嗣夫 氏 学校法人愛甲学院 愛甲学院専門学校 理事
- ・本校校長
 - 西村 公男 学校法人愛甲学院 愛甲学院専門学校
- ・校長の指名するもの
 - 納谷 賢司 学校法人愛甲学院専門学校 副校長
 - 成吉 弘幸 学校法人愛甲学院専門学校 教学情報課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

基準 1 教育理念・目的・育成人材等

- ・学校創立以来 30 年間、学校の理念が変わることなく通用しているのは素晴らしい。
- ・社会情勢の変化にも柔軟に対応する姿勢はあるが、具体性に欠けるように感じる。一段の取組みをお願いしたい。

基準 2 学校運営

- ・運営方針、事業計画の作成は十分できているが、現場の教職員への周知も徹底できてきている。しかしながら、地域社会との連携にあと一步の感があるのではないかと。
- ・保護者との学校事業等の連絡と連携も大切である。

基準 3 教育活動

(法律学科)

- ・法律学科の教育内容を定めるものとして「学則およびカリキュラム編成表」があるが、学則を上回る新たな教育内容を打ち出して、さらに学校内外に積極的に広めてほしい。

基準 3 教育活動

(国際学科)

- ・現在、留学生は問題を多く抱えている。学生にはいかに社会に調和し、活躍できるかを教えていただきたい。
- ・学生としては学修が第一だが、加えて社会への貢献についても考えることのできる学生を育てていただきたい。
- ・職業実践教育課程の認定を受け二年度目ということもあり、企業実習を積極的に実施していくことが必要であると考えます。

基準 4 教育成果

- ・国家試験のいっそうの合格とその後の社会進出・貢献が大切である。
- ・(法律学科) 現状では卒業直後の開業も難しくなっているため、業界の先生方と協力して開業支援や、事務所等への就職支援を行ってほしい。
- ・貴校の学生の実務に対する評価は高いものがあると聞いている。
- ・(国際学科) 実習成果が上がるようしっかりとした授業内容が求められている。教員の現地研修をさらに前倒して行い実習に即した内容となるよう求めたい。

基準 5 学生支援

- ・現在の経済状況から学費負担者の収入が減ってきていると考えられる。貴校では対策をとっていると思われるが、勉学が続けられるよう、より一層奨学金制度等の拡充をお願いしたい。
- ・寮、アルバイト紹介等の環境整備が必要ではないか。安心して預けられる環境を作ってほしい。

基準 6 教育環境

- ・教育環境自体は充実していると思う。大切なのはその有効活用である。
- ・設備の活用が十分でないように思うので教育設備のいっそうの活用を求めたい。

基準 7 学生の募集と受け入れ

- ・学生は将来を見据えて貴校を選択し、入学していると考えます。貴校の持っている素晴らしい理念も理解してのことだと思えます。
- ・学校の理念に基づいた指導をお願いしたい。
- ・学生は会計、あるいは法律に魅力を感じ、業界に入ってきていると思う。さらに貴校と業界がもっと連携すれば、学生の募集も広がっていくのではないかと。
- ・貴校での4年の学修が終わった後、1、2年ほど実務の現場に卒業生を迎え入れる卒業後研修システムを考えていただきたい。
- ・職業実践教育課程の認定を受けたのだから実務研修を再構築してはどうかと思う。今までも実施できてはいるが、この機会に更なる展開を期待したい。

基準 8 財務

- ・Web ページでも学校の財務状況が公開されているが、それを見ても特に問題なく、財務状況は健全だと思えます。

基準 9 法令等の遵守

- ・法律学科、国際学科とも法令遵守は当然のことであると考えます。これからも一層の法令遵守をお願いしたい。

基準 10 社会貢献

- ・会計の専門性を追求した卒後研修機関があっても良いのではないかと。その中で貴校の施設を使わせていただきたい。
- ・あらゆる学科の中に会計の授業が入っても良いのではないかと。そのような貢献をお願いしたい。
- ・貴校が主体としてセミナー等を行っているが、さらに業界と協同、連携等を企画されてはどうか。我々業界団体としてもやっていきたいし、それがかなうならありがたい。学生の募集についても効果があるのではないかと。

3. 学校関係者評価 全体的な総括について

- ・学園創立から約 30 年たっているが、まさに建学の精神に則り法律学科、国際学科合わせて規模が拡大している。
- ・より一層発展し、質的向上にも期待したいと思う。
- ・財政状況も入学予定定員が充足できているので安定している。
- ・これからも将来的展望をもって運営していただきたい。
- ・職業実践専門課程の認定を契機に社会的責務をしっかりと果たしていくよう求めたい。
- ・全学科で職業実践専門課程として認定を受けられるよう教職員の努力を期待している。